

点検・評価の結果

政府統計コード	00500244
基幹・一般の別(選択記入)	特定一般統計調査
調査の名称	生産者の米穀在庫等調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(水田農業政策の立案根拠資料として利用)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<div>1.調査の目的</div> <div>2.調査対象の範囲 ※</div> <div>3.報告者数等※</div> <div>4.報告事項とその基準期日 ※</div> <div>5.報告の方法 ※</div> <div>6.報告を求める期間 ※</div> <div>7.集計事項 ※</div> <div>8.結果の公表方法及び期日 ※</div> <div>9.使用する統計基準</div> <div>10.調査票情報の保存</div> <div>11.立入検査</div>	<div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div> <div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div> <div>報告を求めるために用いる方法</div> <div>調査結果の公表の方法及び期日</div> <div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div> <div>基幹統計調査のみ</div>	一部不整合あり
-----------------------------	--	---	---------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
6. 報告を求める期間※	調査実施期間(始期・終期)	○ 調査票の提出期限 その他	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実	対応中/対応予定	調査票の提出期限について、審査・補完の期間を適切に確保するため変更を行う（令和6年4月に総務省申請予定。）。
	特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 一部地域で客体への調査票の提出期限を前倒した（本省報告までの調査取りまとめ期間を確保するため）		○ 実施方法の見直し その他		

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし <input checked="" type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	<p><見直し・改善の契機> 調査客体からの希望により、調査票の配布を後ろ倒しにしている地域があることから、民間事業者への郵送調査への移行に併せて、調査票の配布時期の見直しを行う。</p> <p><見直し・改善の概要> 調査票の配布時期について、4月に配布を4月～5月に配布へ変更する予定。</p>	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安と している指標区分 ※該当するものを 選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	<input type="radio"/> 達成精度	令和3年調査までは、1経営体当たりの収穫量(脱穀量)を指標として、目標精度(標準誤差率)を1.0%に設定していたが、令和4年調査からは他の調査と標本共用しており、固有に調査設計していないことから、実績精度は算出していない。そのため、今回調査については、参考として有効回答率を記入している。	—	有効回答率 83.8%	実績精度 1.53%	実績精度 1.53%
	<input type="checkbox"/> 回収率・回答率					
	<input type="checkbox"/> 回収調査票数					
	<input type="checkbox"/> カバレッジ					
	<input type="checkbox"/> その他					
	<input type="radio"/> 設定なし					